

# 第1章 科目登録

各手続きにおける受付日時（締切）は厳守してください。いかなる理由があっても指定された日時以外は受け付けできません。

## 科目登録に関する問い合わせ先

### Web科目登録について

MyWaseda「成績照会・科目登録専用」上の「Web科目登録のお問い合わせフォーム」より問い合わせを行ってください（問い合わせは24時間受け付けますが、内容によっては回答が翌営業日以降になることがあります）。

### Waseda IDについて (パスワード再発行)

IDを紛失し、再発行が必要な場合は、早稲田ポータルオフィス（7号館1階）に問い合わせてください。

**【開室時間】**  
月～金 9：00～20：00  
\*授業非実施期間中は18：00まで  
土 9：00～18：00  
\*授業非実施期間中は閉室

### 履修相談等について

商学部事務所カウンター（11号館3階）で随時受け付けます。遠慮なくご相談ください。

# 1. 卒業するために必要な単位

商学部を卒業するには、入学時に配付された学部要項記載の「卒業必要単位数」を満たすよう単位を修得しなければなりません。科目登録を行う前に、各自の入学年度の学部要項に記載されている卒業要件を確認した上で、卒業までの履修計画を立ててください。

## ◆卒業必要単位数（正規入学・転部・編入学者）

（例）選択外国語：「英語」「ドイツ語」、コース：「会計コース」の場合

科 目 系 列		卒業必要単位数		注 意 事 項
		2005-2009年度 入学者	2010年度 以降入学者	
専門基礎科目	必修	12	12	必修科目は、「基礎数学」、「基礎会計学」、「基礎経済学」の3科目（各4単位）です。
	小計	12	12	
専門教育科目	経営コース	4	4	3年生からいずれかのコースに所属します。 例えば「会計コース」に所属した場合、所属コースから16単位以上、他の3コースおよび総合・学際科目群から各4単位以上を修得する必要があります。 ゼミは、各コースの必要単位数として取り扱われません。 ゼミの詳細は、P.12を参照してください。 また、2010年度以降の入学者については、寄附講座等系統の履修上限が8単位となります。
	会計コース	16	16	
	商業・貿易・金融コース	4	4	
	経済・産業コース	4	4	
	総合・学際科目群	—	4	
	選択必修の所定単位を超えて修得した単位など、上記選択必修以外	32	32	
	小計	60	64	
総合教育科目		12	12	「総合教育科目演習（プロゼミ）」もこの系列に含まれます。
	小計	12	12	
外国語科目	外国語I必修（英語）	4	4	英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、ロシア語、朝鮮語の7つの外国語から2つを選択履修します。 外国語科目の詳細は、P.15を参照してください。
	外国語II必修（英語）	2	2	
	外国語II選択（英語）	2	2	
	外国語I必修（ドイツ語）	4	4	
	外国語II必修（ドイツ語）	2	2	
	外国語II選択（ドイツ語）	2	2	
	外国語III選択（英語またはドイツ語）	8	8	
	小計	24	24	
共通選択科目		24	20	上記系列の超過単位または「他箇所・他機関設置科目の修得単位（P.17）」が算入されます。なお、成績照会画面では「共通選択科目」という区分での表示はありません。また、自由科目については、P.6をご覧ください。
	小計	24	20	
総 合 計		132	132	

※全学オーブン科目など商学部以外の設置科目は、「他箇所・他機関設置科目」系列に単位を算入します（⇒P.17）。

「2004年度以前入学者」「学士入学者」「ダブルディグリーによる入学者」は、卒業必要単位数が異なりますので、各自の適用年度の学部要項で所定単位を確認してください。

## 2. 科目登録のながれ

以下の記載は春学期を元とした説明となっていますが、秋学期も大枠は変わりません。また、科目登録において必要な情報は商学部Webページで随時追加・更新されます。科目登録の約1カ月前より定期的に最新情報がないか確認するようにしてください。

### 商学部Webページで新年度科目登録情報を確認

商学部Webページの「科目登録」より、新年度科目登録関連情報をお知らせしています。  
科目登録に関する変更点やお知らせは、随時このWebページ上で行います。

### 科目登録関係書類の受取り【3月9日(木)10:00~】

各種手引きなどは、年度単位で配付しています。これらの科目登録関係資料と併せて新年度の「学生証裏面シール」なども配付しますので、必ず受け取りに来てください。

### 自動登録科目の確認【3月11日(土)9:00~】

在学生の自動登録科目は、3月11日にWasedaメールアドレス宛に送付される「自動登録結果通知メール」により確認することができます。また、科目登録期間中は、Web科目登録システム（MyWaseda画面左下の「成績照会・科目登録専用」からログイン）の「登録科目一覧」画面からも自動登録科目を確認することができます。

※年間（春学期と秋学期）の自動登録科目がまとめて登録されます。



自動登録は各登録のタイミングにおいて機械的に行われるため、留学・休学などを経験している場合、正しい登録結果にならない場合があります。各登録の前には必ず自動登録結果を確認し、自動登録されるべき科目が登録されていない場合は、至急商学部事務所まで申し出てください。

### 履修計画を立てる

卒業までに必要な単位を確認し、履修計画を立ててください。その際、「科目登録における主なルール・注意事項(P. 6~)」を熟読し、問題なく科目登録を行えるようにしてください。



水曜5限や土曜5限は、合同試験がある場合がありますので、登録を避けてください。

### 1次登録

履修計画にもとづいて、Web科目登録システムによる登録申請を行ってください。

(MyWaseda「成績照会・科目登録専用」)

#### [1次登録結果発表]

1次登録の結果は「登録結果確認メール」と「Web科目登録システム」により発表します。申請した科目の結果（状態）を確認し必要があれば2次登録を行ってください。



聽講料・実験実習料の納入が必要な科目的登録が決定した方は、3次登録結果発表後、商学部事務所にて「聽講料・実験実習料納入票」を受け取り、納入期限内に聽講料・実験実習料を納入してください。(P. 7 (5) (e))。

### 2・3次登録

1・2次登録の結果、登録エラーや選外により登録されなかった科目がある場合や、登録単位数が学期別制限単位数に満たない場合は、2・3次で追加登録を行うことができます。なお、2・3次登録の対象となる科目は、1・2次登録終了後に定員に余裕のある科目のみです。商学部Webページで発表する「余裕定員表」で登録可能な科目と余裕定員を確認してください。



- 一度登録が決定した科目を取り消して2次登録を行うことはできません。
- 2・3次登録結果発表前に授業が始まりますが、申請した科目については授業に出席するようにしてください。

3次登録期間中に、当該学期で登録が決定した商学部設置科目（自動登録科目を除く）のうち6単位を上限に取り消すことができます。また、他箇所・他機関科目の算入区分の変更（非算入（自由科目）→算入）ができます。これらは、指定日時にWeb科目登録システムで受け付けます。



- 3次登録期間中であれば、科目取消後に別の科目的登録申請をすること可能です。
- 算入区分の変更について、逆の変更（算入→非算入（自由科目））はできません。

#### [2・3次登録結果発表]

2・3次登録の結果も「登録結果確認メール」と「Web科目登録システム」により発表します。申請した科目の結果（状態）を確認し必要があれば3次登録を行ってください。

### 最終登録結果の確認（終了）

「登録結果確認メール」により全員に通知します。

1次のみで登録を終了した方、2次までで登録を終了した方も、必ず最終登録結果を確認してください。

### 3. 科目登録における主なルール・注意事項

科目登録では、登録エラーとならないよう注意すべき事柄を事前に確認しておかなければなりません。「科目登録」に関するルール・注意事項等を確認し、エラーが発生しないよう慎重に申請手続きを行ってください。エラーにより希望する科目が登録されなかったり、希望しない科目が登録されてしまっても、後から登録内容を変更することはできません。

#### (1) 学期別の登録制限単位

卒業必要単位に関する半期登録制限単位数は下表のとおりです。実際の登録単位数が学期の登録制限単位数を下回る場合でも、次学期以降にその不足分を加えて登録することはできません。

対象学生	学期
正規入学者（4月入学者・9月入学者）	20単位
ダブルディグリー（国立台湾大学からの留学生）	30単位

ただし、卒業必要単位として認められない「自由科目」（「(3) 自由科目」を参照）については上記制限に含まれません。科目登録時に科目区分を選択する際には、十分に気をつけてください。

#### (2) 商学部設置の寄附講座等の単位

2010年度以降の入学者については、寄附講座等系統の算入上限が通算で8単位となります。（8単位を超えての登録はできません。）

#### (3) 自由科目

卒業必要単位に算入されず、登録制限単位数に含まれない科目扱いとなる対象科目。具体的には以下4つのグループです。

①卒業必要単位に算入されない「教職等資格関連科目」（教育学部教職課程提供科目）。

②会計研究科・商学研究科提供の先取り科目。

③他箇所・他機関設置科目について、科目登録時に「自由科目」として登録を行った科目。

※商学部設置科目は自由科目としての登録はできません。

④他箇所・他機関設置科目（保健体育科目を含む）のうち、卒業算入上限単位数を超えて登録を行った科目。

例：Web科目登録システム画面（科目登録時に、学生自身が卒業必要単位に算入するか否かを選択する）

**サンプル画面**

戻るしてください。							検索を終了して一覧へ
順位	科目名	担当教員	キャンパス	教室名	科目区分	単位	希望
1	数学基礎プラスB(企画編) 02	上江川 弘明 高木 伸 大林 和浩 曾澤 哲也 西條 正則			他箇所・他機関	1	
2	数学基礎プラスB(最適化編) 02	上江川 弘明 高木 伸 大林 和浩 曾澤 哲也 西條 正則			他箇所・他機関	1	
3	数学基礎プラスB(企画編) 03	上江川 弘明 高木 伸 大林 和浩 曾澤 哲也 西條 正則			他箇所・他機関 他箇所・他機関 自由(卒業非算入)	1	
4	数学基礎プラスB(最適化編) 03	上江川 弘明 高木 伸 大林 和浩 曾澤 哲也 西條 正則			他箇所・他機関	1	
5	数学基礎プラスB(統計的基盤) 02	上江川 弘明 高木 伸 大林 和浩 曾澤 哲也 西條 正則			他箇所・他機関	1	

科目区分において、「自由(卒業非算入)」を選択すると  
 自由科目扱いとなります。  
 ※科目によってこの科目区分名称が異なる場合があります。



自由科目は、単位を修得した場合は成績証明書に記載されますが、GPAには反映されません。

## (4) 保健体育科目の注意

「保健体育科目」は、2009年度より登録制限単位数が「学期2単位」まで、また、卒業要件への算入も「上限4単位（通算）」までとなっています。（2008年度以前は「年間2単位」まで）に変更されております。履修申請する際、既に修得した保健体育科目的単位数を確認して、以下a, bの例をしっかり理解した上で申請してください。

- (a) 履修申請時に既に修得した保健体育科目的単位数が『4単位』の場合  
⇒ 以降申請する保健体育科目は全て「自由科目（(3)参照）」扱いとなります。科目登録時に「自由科目」として登録をしてください。

- (b) 履修申請時に既に修得した保健体育科目的単位数が『3単位以下』の場合  
⇒ 4単位までが卒業必要単位として算入されますので、それを超える分については、科目登録時に「自由科目」として登録してください。

※他箇所・他機関設置科目的修得単位数が卒業算入上限の20単位（2010年度以降入学者の場合）を超える、もしくは既に超えている場合には、保健体育科目的修得単位数が4単位となる前に「自由科目」扱いになる場合があります。

## (5) 登録条件がある科目

一定の条件を満たさないと登録できない科目があります。

### (a) 特定の科目

科目登録時、商学部Webページにて発表します。シラバスに個別に記載されている場合もあるので確認してください。

### (b) 外国語科目

「外国語II選択」は、詳細な登録条件があります（⇒P.15）。

### (c) ゼミの前提科目・並行履修科目

「前提科目」はゼミ履修前まで、「並行履修科目」はゼミ履修と並行して、必ず履修するようにしてください。（⇒P.14 「ゼミの前提科目・並行履修科目」）

### (d) 総合教育科目演習（プロゼミ）

プロゼミは各学期において、1科目のみ履修することが可能です。プロゼミAを登録後、プロゼミBが自動的に登録されます。プロゼミを履修する際語学等必修科目との時間割重複がないか注意ください。ただし、プロゼミAが不合格となった場合、プロゼミBは秋学期科目登録開始前に自動的に取り消されます。やむを得ない理由により秋学期に履修を継続しない場合は、担当教員の承認のもと所定の用紙（商学部事務所にて配布）を提出し、科目取消を申請してください。

なお、担当教員が許可する場合には、当年度にプロゼミAが未履修の学生についても、同一のプロゼミBからの登録を受け入れることとします。

### (e) 聴講料・実験実習料が必要な科目（商学部以外の設置科目の一部）

聴講料・実験実習料が必要な科目は、科目検索画面の備考欄に「¥（要聴講料等）」が表示されています。これらの登録が決定した場合は、Wasedaメールアドレス宛に聴講料・実験実習料納入案内メールが届きますので、メールの記載内容に従い納入手続きを進めてください。

納入方法は以下の3つから選択できます。

- a. コンビニエンスストア決済
- b. ペイジー決済
- c. クレジットカード決済

①期限を過ぎての納入はいかなる理由であれ認められません。

②未納の場合、決定科目的履修は認められないほか、今後の他箇所・他機関の科目登録が認められない（もしくは優先順位が下がる）等の対応がなされることがあります。

③聴講料・実験実習料納入対象科目を複数登録すると、合計金額が10万円を超える場合もあります。必ず期日内に納入可能であることを確認してから科目登録を行ってください。

④合計金額を全て一括で納入してください。一部の科目のみ納入することはできません。

### 1. 納入期間について

登録学期	納入対象科目	納入期間
春学期登録	Tutorial English A・B※	4月6日（木） ～11日（火）23：59
	上記以外の1次～3次登録 決定科目	4月25日（火） ～5月1日（月）23：59
秋学期登録	Tutorial English C・D※	9月28日（木） ～10月3日（火）23：59
	上記以外の1次～3次登録 決定科目	10月18日（水） ～24日（火）23：59

※自身で科目登録を行い、かつ1次登録決定科目となった場合のみ

**(6) 抽選**

登録エラー判定後、エラーのない希望科目について科目ごとに希望者数を集計し、希望者数が定員を上回る科目については、以下の登録優先順位に従いコンピュータで機械的に抽選を行います。

&lt;各科目系列ごとの登録優先順位&gt;

学年 科目		1年生	2年生	3年生	4年生	延長生
総合教育科目(講義)		2	2	2	1	1
プロゼミ		1	2	3	3	3
外国语科目	II群科目	—	1	4	3	2
	III群科目	—	—	3	2	1
専門教育科目  ※1  各コース ※1	I群科目 自※2	1	2	3	4	5
	他※2			6	7	8
	II群科目 自※2	—	1	2	3	4
	他※2			5	6	7
	III群科目 自※2	—	—	1	2	3
	他※2			4	5	6
	総合国際科目群 I群科目	1	2	3	4	5
	II群科目	—	1	2	3	4
	III群科目	—	—	1	2	3

※表中の数字は、順位を表し、**数字が小さいほど優先順位が高いことを示す**

※1 コース：経営コース、会計コース、商業・貿易・金融コース、経済・産業コース

※2 自・・・自コース（例：会計コースの学生が、会計コースの科目を申請する場合）

他・・・他コース（例：会計コースの学生が、会計以外のコースの科目を申請する場合）

**(7) 取消・科目区分変更**

春学期および秋学期の各3次登録期間中に、当該学期で登録が決定した商学部設置科目（自動登録科目、プロゼミを除く）のうち6単位を上限に取り消すことができます。

また、当該学期で登録が決定した他箇所・他機関科目の算入区分の変更（非算入（自由科目）⇒算入）ができます。これらは、所定の日時（P.1 「商学部暦」参照）に、Web科目登録システムにて受け付けます。

なお、算入区分変更の結果、登録制限単位数オーバーとなった場合、申請前の科目区分に戻されますので、ご自身の登録単位数をよく確認してください。

## (8) 通年、集中科目

科目的開講時期や時期名称が、商学部設置科目と商学部以外（他箇所・他機関）の設置科目で異なっています。下表のとおりとなりますので、ご自身が登録された科目的開講学期を確認し、登録単位数に注意してください。また、登録する科目によって成績発表時期が異なりますので、卒業に関する学年の方は、夏休み・春休みに開講される科目や多箇所・他機関の科目を登録しないようにしてください。（当該科目によって卒業可否が確定する場合、卒業時期が後ろ倒しとなり、証明書等の発行も遅れる他、卒業式に出席できないこともあります。）

科目設置箇所	科目配当時期	春学期登録単位としてカウント	秋学期登録単位としてカウント	2023年度成績発表予定日
商学部設置科目	春学期 春クオーター 夏クオーター	○		2023年9月4日
	秋学期 秋クオーター 冬クオーター		○	2024年3月1日
他箇所 他機関設置科目	春学期 集中講義（春学期） 春クオーター 夏クオーター 夏季集中 春夏期 通年 冬季集中 春季集中 秋学期 集中講義（秋学期） 夏秋期 秋クオーター 冬クオーター	○		2023年9月4日
				2023年9月下旬
				2024年3月1日

上表のほか、f-campus 提供科目のうち春学期科目は9月に成績発表がなされます。f-campus 以外の他大学提供科目は、3月に成績発表となります。

## (9) 再履修

必修科目が不合格となった場合や、留学等によりゼミに復帰する場合等、再履修する場合の登録方法は、次のとおりとなります。

«再履修科目の登録方法»

再履修科目	登録方法
専門基礎科目	基礎数学※1
	基礎会計学※2
	基礎経済学
外国語科目	外国语 I 必修
	外国语 II 必修

※ 1 基础数学には、当年度新入生用の「数学受験者」および「推薦入学者」対象のクラスがあります。どのクラスが該当するかは商学部Webページ等により発表します。

※ 2 2009年度より必修科目である専門基礎科目「簿記原理」の名称が「基礎会計学」に替わりました。このため、「簿記原理」単位未修得者は再履修科目として「基礎会計学」を登録してください。

## (10) 同一科目／科目的分割・統合

単位を修得した科目と同じ名称の科目を再度履修することはできません。また、名前は異なっていても、その内容が変わらない科目（以下一覧）についても同様に再度履修することはできないので、注意してください。

※「専門教育科目演習」の過去の名称変更は掲載していません。

科 目 系 列		旧 科 目 名 称	現 科 目 名 称	
専門教育科目	総合・学際科目群	Academic Writing for Graduation Thesis（～2022）	Business Research Methods	
		Econometrics for Public Policy（～2022）	Introductory Econometrics	
		起業家養成講座I（～2019） 株式会社日本M&Aセンター寄附講座 起業家養成講座I（～2021）	株式会社日本M&Aセンターホールディングス寄附講座 起業家養成講座I	
		東アジア共同体形成論（～2021）	東アジア経済発展論	
総合教育科目		現代の哲学A/B（～2022）	現代哲学のトピック	
		文学の観点（近代と古典）A/B（～2022）	古典文学の観点	
		心理学A/B（～2022）	心理学入門	
		人間と自然A/B（～2021）	科学と哲学A/B	
		自然と人間A/B（生物学）（～2021）	自然と人間A/B	
総合教育科目演習		フランス語圏研究A/B（～2021）	カナダ・ケベック研究A/B	
外国語科目	英 語	英語I（習熟度別）中級 総合英語A/B（～2020）	英語I：English for Academic Purposes（中級）A/B	
		英語I（習熟度別）準上級 総合英語A/B（～2020）	英語I：English for Academic Purposes（準上級）A/B	
		英語I（習熟度別）上級 総合英語A/B（～2020）	英語I：English for Academic Purposes（上級）A/B	
		英語I ビジネス英会話A/B（～2020）	英語I：Business English Conversation A/B	
		英語II（習熟度別）中級 ライティングA/B（～2020）	英語II：Academic Writing（中級）A/B	
		英語II（習熟度別）準上級 ライティングA/B（～2020）	英語II：Academic Writing（準上級）A/B	
		英語II（習熟度別）上級 ライティングA/B（～2020）	英語II：Academic Writing（上級）A/B	
		英語II選択（習熟度別）中級 Reading A/B（～2020）	英語II選択：Reading（中級）A/B	
		英語II選択（習熟度別）中級 Listening A/B（～2020）	英語II選択：Listening（中級）A/B	
		英語II選択（習熟度別）中級 Grammar A/B（～2020）	英語II選択：Grammar（中級）A/B	
		英語II選択（習熟度別）中級 Speaking A/B（～2020）	英語II選択：Speaking（中級）A/B	
		英語II選択（習熟度別）中級 Practical Composition A/B（～2020）	英語II選択：Practical Composition（中級）A/B	
		英語II選択（習熟度別）上級 Reading A/B（～2020）	英語II選択：Reading（上級）A/B	
		英語II選択（習熟度別）上級 Listening A/B（～2020）	英語II選択：Listening（上級）A/B	
		英語II選択（習熟度別）上級 Grammar A/B（～2020）	英語II選択：Grammar（上級）A/B	
		英語II選択（習熟度別）上級 Speaking A/B（～2020）	英語II選択：Speaking（上級）A/B	
		英語II選択（習熟度別）上級 Media English A/B（～2020）	英語II選択：Media English（上級）A/B	
		英語II選択（習熟度別）上級 Writing A/B（～2020）	英語II選択：Writing（上級）A/B	
		英語II選択（習熟度別）上級 Presentation A/B（～2020）	英語II選択：Presentation（上級）A/B	

次のように「合併」または「分割」による科目名称の変更も同一科目とみなし、旧科目名称の単位修得者は現科目名称の科目を履修することはできません。

例)

	旧 科 目 名	新 科 目 名
合併	日本の文化と社会A 日本の文化と社会B	日本の文化と社会
	哲学の歴史	哲学の歴史A 哲学の歴史B
	比較宗教	比較宗教A 比較宗教B
	青年の心理学	青年の心理学A 青年の心理学B

## (11) 登録エラー

(1)～(5)、(11)のルールを守らずに科目登録を行ってしまうと、「科目登録のエラー」となります。登録エラーが発生した場合、救済措置はありませんので注意してください。よくあるエラーには以下のようなものがあります。

また、科目登録におけるコンピュータ処理では、登録エラーがないかどうかというチェックを行いエラー科目をすべて除外し、エラーのなかつた登録希望科目のみを対象に抽選を行います。エラー科目が多数あって、さらに抽選で選外になると登録希望科目がほとんど登録されないこともありますので、登録の際にはエラーが発生しないよう十分に注意してください。

エラーとなる事例	エラー名称	結果
学期の登録制限単位数（20単位）を超えて申請した場合	学期別制限単位数オーバーエラー	超過した場合は、制限単位数以下になるまで、登録希望科目が無作為にエラーとなります。エラーとなった科目は原則、登録されません。なお、他箇所・他機関の設置科目の場合は自動的に「自由科目」として登録されることがあります。
外国語Ⅱ選択科目において、学期の登録制限単位数（1単位）を超えて申請した場合	外国語Ⅱ（選択）学期別制限単位数オーバーエラー	申請した科目はエラーとなり登録されません。
すでに単位修得済みの科目を申請した場合	既得済・登録済エラー	申請した科目はエラーとなり登録されません。
自動登録科目など、すでに登録済みの科目を新たに申請した場合		
前提条件のある科目について、指定された条件を満たさず申請した場合 (例：「基礎経済学」単位未修得者は「マクロ経済学」「ミクロ経済学」を履修することはできません)	前提条件エラー	申請した科目はエラーとなり登録されません。
外国語Ⅰの修得単位数が2単位未満であるにも関わらず、当該外国語Ⅱ選択科目を申請した場合	外国語Ⅰを2単位以上修得済でないため登録不可 (「外国語Ⅱ」の履修には「外国語Ⅰ」を2単位以上修得していることが必要です)	前提条件のある科目において、その条件を満たしていない場合、申請した科目はエラーとなり登録されません。
外国語Ⅰ・Ⅱの合計修得単位数が6単位未満であるにも関わらず、当該外国語Ⅲを申請した場合	外国語Ⅰ・Ⅱを6単位以上修得済でないため登録不可 (「外国語Ⅲ」の履修には「外国語Ⅰ」「外国語Ⅱ」を合計6単位以上修得していることが必要です)	

## (12) 合同試験・補講の時間割について

商学部では、特に専門基礎科目などでクラス合同での中間試験等が行われる場合、水曜5限や土曜5限に設定されることがあるほか、補講授業が行われる可能性もあります。科目登録時には、これらの時限を避けて登録するようにしてください。

万が一重複した場合でも、救済措置はありません。

## (13) 卒業必要単位数におけるオンライン授業科目の算入上限について

大学設置基準により、オンライン授業科目の卒業必要単位数への算入上限は60単位とされています。

早稲田大学では、全授業時数の半分以上を対面授業で実施する授業科目を「対面授業科目」、全授業時数のうち、半分以上をオンライン授業で実施する授業科目を「オンライン授業科目」と定義し、シラバスに表示される「授業方法区分」において授業科目の実施方法を示しています。「オンライン授業科目」で修得した単位は、卒業必要単位数として60単位まで算入が可能です。60単位を超えることのないよう、シラバスの授業方法区分を参照のうえ、各自履修計画を立ててください。

なお、社会的な非常事態（感染症、大規模災害等）を受けて、やむを得ない理由（大学への休講要請、教室定員制限等）により、当初の授業計画において「対面授業科目」として実施予定だった授業の一部または全部をオンライン授業として実施する場合は、「非常時対応」とり、「対面授業科目」のまま取り扱います。

「オンライン授業科目」は成績照会画面では【Online】と記載されていますので参考してください。

### 2020・2021年度に修得した単位の取り扱い

一部の科目を除いて「非常時対応」とし、60単位制限は適用外です。ただし、当初よりフルオンデマンドとして授業計画されていた以下の科目については、60単位制限が適用されます。

#### 【60単位制限が適用される商学部設置科目、自動登録科目】

- ・ビジネス入門Ⅰ（2021年度のみ）
- ・統計リテラシーα・β（商学部）、学術的文章の作成

※自身で申請した他箇所設置科目の取り扱いは、科目設置箇所に確認してください。

## 4. ゼミ

### (1) ゼミの種類と登録について

※履修学年の( )内は9月入学者の履修学年を指す。

		学期	単位数	履修学年	登録
専門教育科目演習 (ゼミ)	専門教育科目演習Ⅰ A	春学期	2単位	3年生 (2年生)	ゼミⅠ AとゼミⅠ Bを併せて 春学期に自動登録
	専門教育科目演習Ⅰ B	秋学期	2単位	3年生 (3年生)	
	専門教育科目演習Ⅱ A	春学期	2単位	4年生 (3年生)	前年度までゼミⅠを2単位以上修得し、かつ担当教員から 継続が認められた場合、ゼミ Ⅱ A、Ⅱ Bおよびゼミ論文の 3科目を併せて春学期に自動 登録(ゼミⅠ Bが不合格の場合、 ゼミⅡ A、Ⅱ B、ゼミ 論文が登録されないことがあります)
	専門教育科目演習Ⅱ B	秋学期	2単位	4年生 (4年生)	
	専門教育科目演習論文	秋学期	4単位	4年生 (4年生)	

### (2) ゼミ選考

Webにて申請を行うとともに、必要書類を事務所に提出します。その後、各ゼミに分かれて選考(面接など)が行われます。大まかなスケジュールは以下の通りです。

1次		2次		3次	
9月／上旬	説明会	10月／中旬	申請	11月／上旬	募集ゼミ発表
9月／中旬	申請	10月／下旬	選考	11月下旬～ 12月上旬	申請
9月／下旬	選考	11月／上旬	発表	12月／中旬	選考
10月／上旬	発表			12月／下旬	発表

※2次と3次については、追加募集がある場合のみ実施

### (3) 履修上の注意

#### 1. ゼミの単位について

- ゼミおよびゼミ論文は、コース所定の卒業単位数(16単位)に含まれません。

#### 2. 所属コースについて

- 自分のゼミが属するコースが、自動的に所属コースとなります。ゼミに所属しない場合は、自身でコースを選択する必要があります(2年次の1月頃)。詳細については、商学部事務所からの案内を確認してください。
- 所属ゼミを変更する場合を除き、一度決定したコースは変更することできませんので、十分検討してください。

#### 3. ゼミ履修上のルール

##### ①ゼミ論文の履修について

ゼミ論文はゼミⅡ Bと並行して登録されますが、成績評価は個別に行われます。

次年度も引き続き在学を希望するなどの理由により、指導教員からゼミ論文の延長が認められた場合、当学期のゼミ論文の成績評価はF評価となり、次学期にゼミ論文のみ自動登録されます。

なお、ゼミ論文を延長した場合には、次年度中に履修しなければなりません。

ゼミ論文の単位を差し引いたうえで卒業要件を満たす場合はその時点で卒業となりますのでご注意ください。

9月卒業やゼミⅡ A履修後に留学を予定している場合は、事前に担当教員の許可を得たうえで、ゼミ論文をゼミⅡ Aと同時に履修することができます。この場合に限り、ゼミⅡ Bは免除(単位はなし)となります。

##### ②卒業要件について

ゼミは必修科目ではないため、ゼミⅡ Bとゼミ論文の単位を差し引いたうえで卒業要件を満たす場合にはその時点で卒業となります。

**③留学・休学をする場合**

①ゼミ担当教員と留学・休学期間、復学のタイミングについて相談してください。

②ゼミはⅠAもしくはⅠBのいずれか2単位を取得し、担当教員の許可があれば、ゼミⅡA・ⅡBへの進級は可能です（その際、受講しない学期2単位分は免除（単位はなし）となります）。



③ゼミⅡについて、留学・休学によりⅠB・ⅡAの両方もしくはどちらかが履修できない場合、担当教員の許可を得た上で免除（単位はなし）することができます。



※復学後、【履修科目申請書】を登録する学期の1次科目登録開始前までに速やかに提出してください。

上記に記載の留学パターンはあくまでも担当教員の許可を得た上での一例となります。

ご自身の留学パターンで不明点がある場合は、商学部事務所に問い合わせてください。

**◆ゼミ選考について（留学中、または休学中のゼミ応募について）**

①ゼミ選考期間の学期中に留学・休学している学生もゼミ応募が可能です。

（追加で課題が与えられる可能性があります。）

②詳細な募集ゼミ・応募方法等については募集開始時に対象者へ連絡します。

③なお、締め切り等については在学生と同じ期日となり、Web応募及び応募書類の提出も必要となりますので注意してください。

（留学・休学中の学生に対して、締切延長など特別な措置は講じられません。）

**④復学時のゼミ登録**

復学後のゼミやゼミ論文を登録する場合、担当教員の承認（署名捺印）を得た上で、所定の用紙（商学部事務所にて配付）を提出してください。復学後のゼミおよびゼミ論文は自動登録されませんので、科目登録前に必ず書類を提出してください。

**⑥ゼミの取消**

ゼミの取り消しは原則できませんが、やむをえない理由により受講できない場合は、担当教員の承認（署名捺印）を得た上で、所定の用紙（商学部事務所にて配付）を提出してください。

ただし、ゼミⅡA登録後は、ⅡBとゼミ論文の単位を取り消すことはできません。ゼミ所属を辞退する場合も同様です。

**⑤ゼミの変更（再応募）**

現在履修中のゼミの単位修得状況に関わらず、学部の定める選考日程および手続きにのっとり、他のゼミに応募することができます。これにより選考で合格した場合は、次年度合格したゼミについて選考時に指定されたゼミⅠ、またはゼミⅡから履修しなければなりません（所属コースは、次年度合格したゼミのコースへ変更になります）。

## (4) ゼミの前提科目・並行履修科目

2023年度ゼミ I 登録者	所属ゼミの「並行履修科目」を登録してください。
2024年度ゼミ履修希望者	希望ゼミの「前提科目」「並行履修科目」確認用として活用してください。

前提科目…ゼミ I A が始まる前に履修が必要な科目  
並行履修科目…ゼミ I A と並行／もしくは事前に履修が必要な科目

※時間割の都合等でどうしても履修が難しい場合や既に並行履修科目を修得している場合、担当教員に相談してください。  
また9月入学者で、ゼミ開始時にⅢ群科目と並行履修できない場合も、併せて担当教員に相談してください。

※入学時に自動登録される「学術的文章の作成」は、ゼミの前提科目に指定される可能性があります。

2023年度開講ゼミ I ※★はGMP対象ゼミ

科目名	教員氏名	前提科目	並行履修科目
<b>■経営トラック</b>			
現代企業研究 I A	坂野 友 昭		ビジネス・リサーチ
組織と戦略 I A	藤田 誠		経営学
ビジネスモデルと競争戦略 I A	井上 達彦		ビジネスアイデア・デザイン、ビジネスモデル・デザイン
会社法研究 I A	中村 信男	ビジネス法入門	企業法 I、企業法 II
企業法研究 I A	和田 宗久		企業法 I、企業法 II
企業と環境・社会 I A	谷本 寛治		企業と社会 I
経営戦略研究 I A	山野井 順一	基礎統計学、ミクロ経済学	経営戦略、回帰分析初級 A
組織行動研究 I A	村瀬 俊朗		組織行動論、基礎統計学
Contemporary Strategic Management I A (★)	マレン ジョエル		Business in the Natural Environment, Strategy, Policy, and Planning (GMPコア科目)、Economics for Public Policyもしくは回帰分析初級 A と回帰分析中級
ブレークスルーノードの科学 I A	三橋 平	基礎統計学を事前に履修済みであれば望ましいが必須ではない。	経営組織論(三橋)、回帰分析初級 A (片山)、回帰分析中級 (片山)、イノベーションとアントレプレナーシップ、経営戦略(秋学期)
ヒューマン・リソース・マネジメント研究 I A	梁取 美夫		人的資源管理
民法研究 I A	新井 剛		民法 I、民法 II、民法 III
<b>■会計トラック</b>			
現代管理会計論 I A	長谷川 恵一	基礎会計学	原価計算論、管理会計論
現代の財務会計 I A	川村 義則	基礎会計学	簿記 I
財務報告と分析 I A	奥村 雅史	基礎会計学	財務諸表分析論、企業価値評価論
企業価値評価研究 I A	大鹿 智基		財務諸表分析論、企業価値評価論
財務報告の研究 I A	山内 晓		
財務会計研究 I A	八重倉 孝	財務会計論	
Accounting, Economics and Society I A (★)	スズキ トモ		
会計・監査実務研究 I A	関根 愛子	基礎会計学	会計監査論
<b>■マーケティング・国際ビジネストラック</b>			
現代マーケティング研究 I A	恩藏 直人	マーケティング論	マーケティング戦略論
現代広告研究 I A	嶋村 和恵	マーケティング論、広告論	マーケティング・コミュニケーション論、消費者行動論
マーケティング・サイエンス研究 I A	守口 剛		
消費者心理学研究 I A	須永 努	マーケティング論	消費者行動論
Consumer Behavior Research I A	フランク ビヨーン		回帰分析初級 A または回帰分析初級 B、International Consumer Behavior、環境マーケティングまたはGreen Marketing
貿易商務研究 I A	田口 尚志		国際商務論
グローバル経営 I A	谷口 真美		ダイバシティ・マネジメント、Leading Diverse Teams
国際貿易と経済学 I A	市田 敏啓	ミクロ経済学	国際貿易論(市田)、回帰分析初級 (片山)
国際貿易研究 I A	横田 一彦		国際貿易論(横田担当)、International Business
International Corporate Strategy I A (★)	エドマン ジェスパー	基礎統計学、ミクロ経済学、マーケティング論、マクロ経済学(履修済みであれば望ましいが必須ではない)	International Strategy and Organization、Strategy Policy and Planning または経営戦略、International Consumer Behavior、Management and Complexity、回帰分析初級 A (片山)、データ科学入門 1
<b>■金融・保険トラック</b>			
リスクマネジメント研究 I A	李洪茂	保険論(平行履修でも可)	リスクマネジメント論、リスクファイナンシング論、損害保険論
The World's Corporations in a Globalized Society I A (★)	廣田 真一		企業金融論、回帰分析初級 A (片山)、回帰分析中級 (片山)、Business Research Methods
コーポレート・ファイナンス I A	谷川 寧彦		回帰分析初級 A (片山)
Study of Insurance from a Global Perspective I A (★)	中出 哲	保険論(平行履修でも可)	海上保険論、リスクマネジメント論
フィナンシャル・エコノミクス I A	尾崎 祐介		資産価格論(尾崎)、回帰分析初級 (片山)、回帰分析中級 (片山)
保険経営と数理 I A	星野 明雄	保険論(必須ではないが強く推奨)	リスクマネジメント論
<b>■経済トラック</b>			
マクロ経済理論 I A	片岡 孝夫	マクロ経済学	ミクロ経済学、基礎統計学
開発経済学研究 I A	高瀬 浩一	基礎統計学または回帰分析初級、ミクロ経済学	
数理計量分析研究 I A	毛利 裕昭	基礎数学	基礎統計学(毛利)、経済統計 I、経済統計 II、数理統計学、機械学習と数理
コンピュータによる統計分析とその応用 I A	坂野 慎哉	統計リテラシー $\alpha - \beta$	基礎統計学、回帰分析初級 A または B
企業の経済学 I A	久保克行		
計量経済学とその応用 I A	片山 東	基礎統計学、ミクロ経済学	回帰分析初級 A ・ 回帰分析中級
産業組織論研究 I A	加納 和子	ミクロ経済学(平行履修でも可)	産業組織論、回帰分析初級 A または B
Empirical Study of Policy Evaluation I A (★)	富 蓉	基礎統計学、回帰分析初級	Economics for Public Policy、Academic Writing for Graduation Thesis
数理経済学研究 I A	原 和弘		ゲーム理論と戦略
<b>■産業トラック</b>			
日本企業システムの経済分析 I A	宮島 英昭		日本経済論
国際経済学研究 I A	横山 将義	基礎経済学	経済政策
日本経済史研究 I A	花井 俊介		日本経済史
国際経済関係研究 I A	池尾 愛子		現代社会科学論
Economic and Business History: Global Perspectives I A (★)	矢後 和彦		
雇用労働研究 I A	小倉 一哉		労働経済論
イノベーション研究 I A	清水 洋		イノベーションとアントレプレナーシップ
産業・企業ダイナミクス研究 I A	宮川 大介	基礎統計学、ミクロ経済学	回帰分析初級 A ・ 回帰分析中級

## 5. 外国語科目

### 4月入学者の外国語履修（英語と中国語を選択している場合）

※○内の数字は単位数を表す

外国語 I		英 語	中国語	登録方法
1年	春学期	英語 I : English for Academic Purposes A <b>【必修】①</b> 英語 I : Business English Conversation A <b>【必修】①</b>	中国語 I 基礎 A <b>【必修】②</b>	自動登録されます
	秋学期	英語 I : English for Academic Purposes B <b>【必修】①</b> 英語 I : Business English Conversation B <b>【必修】①</b>	中国語 I 基礎 B <b>【必修】②</b>	

#### ▼それぞれの「外国語 I」において、2単位以上修得者のみ「外国語 II」の登録が可能

※「英語 II : Academic Writing A・B」を履修するには、「英語 I」において2単位以上修得することに加え、「英語 I : English for Academic Purposes B」履修中に英語統一試験を受験することが必須となります。ただし、英語 II 選択科目は、英語 I を2単位以上修得していれば、履修可能です。

#### 外国語 II

2年	春学期	英語 II : Academic Writing A <b>【必修】①</b> 英語 II 選択 A <b>(選択) ①</b>	中国語 II 総合 A <b>【必修】①</b> 中国語 II 選択 A <b>(選択) ①</b>	【外国語 II 必修科目】 自動登録されます
	秋学期	英語 II : Academic Writing B <b>【必修】①</b> 英語 II 選択 B <b>(選択) ①</b>	中国語 II 総合 B <b>【必修】①</b> 中国語 II 選択 B <b>(選択) ①</b>	【外国語 II 選択科目】 各自でクラスを選択し登録してください

#### ▼それぞれの「外国語 I」および「外国語 II」において、合計6単位以上修得者のみ「外国語 III」の登録が可能

#### 外国語 III

3年 以上	—	外国語 III は、登録している2つの外国語のうち、どちらか一方または両方から計8単位以上を履修し、単位を修得しなければなりません。	【外国語 III】 各自でクラスを選択し登録してください
----------	---	--	---------------------------------

#### 【2013年度以前入学で、朝鮮語選択者の方】

グローバルエデュケーションセンター（GEC）設置科目を履修することで、朝鮮語 I および朝鮮語 II（必修および選択）の所定の単位を修得することになります（下表参照）。いずれも自動登録されます。

なお、朝鮮語 II（選択）は、卒業に必要な2単位を未修得の方について自動登録を行います。

算入区分	商学部設置科目（廃止）	GEC 設置科目
朝鮮語 I	朝鮮語 I 基礎 A（2単位）	⇒ 朝鮮語（入門）（2単位）
	朝鮮語 I 基礎 B（2単位）	⇒ 朝鮮語（初級）（2単位）
朝鮮語 II (必修)	朝鮮語 II 総合 A（1単位）	⇒ 朝鮮語（準中級）（1単位）
	朝鮮語 II 総合 B（1単位）	⇒ 朝鮮語（中級）（1単位）
朝鮮語 II (選択)	—	⇒ 朝鮮語（準中級）（1単位）
	—	⇒ 朝鮮語（中級）（1単位）

#### 【2013年度以前入学で、ロシア語選択者の方】

法学部設置科目を履修することで、ロシア語 I およびロシア語 II（必修）の所定の単位を修得することになります（下表参照）。いずれも自動登録されます。

ロシア語選択科目の履修については、商学部事務所へ連絡してください。

算入区分	商学部設置科目（廃止）	法学部設置科目
ロシア語 I	ロシア語 I 基礎 A（2単位）	⇒ 露語初級 I 基礎（2単位）
	ロシア語 I 基礎 B（2単位）	⇒ 露語初級 II 基礎（2単位）
ロシア語 II (必修)	ロシア語 II 総合 A（1単位）	⇒ 露語中級 I 総合（1単位）
	ロシア語 II 総合 B（1単位）	⇒ 露語中級 I 総合（1単位）

### （1）外国語 II

※外国語 II 選択科目は登録している2つの言語についてそれぞれ学期に1単位ずつしか登録できません（一度に2単位以上登録することはできません）。

※外国語 II 選択科目は今年度春学期に「選択A」、秋学期に「選択B」を履修するパターンのほか、今年度春学期に「選択A」を履修し、翌年度春学期に「選択A」の異なる科目を履修して所定の単位を満たすことができます。

※「英語 II 選択 A Listening」と「英語 II 選択 B Listening」は、同一科目とみなさないため履修可能です。

### （2）外国語 III

※「外国語 III」は外国語 II 選択科目のような登録単位数の制限を設けていないので、たとえば学期に8単位分すべてを登録しても構いません。  
※「外国語 III」の各外国語における修得単位の内訳は自由です。「英語8単位、中国語0単位」「英語6単位、中国語2単位」「それぞれ4単位ずつ」など、どのようなパターンでも構いません。ただし、既習言語選択者については、既習言語の外国語IIIから最低4単位を修得し、かつどちらか一方または両方から8単位修得しなければなりません（外国語IIIを合計12単位修得）。

英語 II と英語 III（一部）については、英語統一試験の成績に応じた習熟度別のクラス設置となっています。  
詳細はP.16を参照してください。

#### 履修外国語の変更・追加について

入学時に自ら選んだ2つの言語を在学途中に変更することはできません。また履修言語を追加することもできません。しかし、商学部以外の設置箇所で開講されている言語科目については履修可能ですので、新たに3つ目の言語履修を希望する場合、グローバルエデュケーションセンター設置科目を履修してください（他箇所・他機関の設置科目として算入されます）。

#### 外国語の再履修について

「必修科目」は、毎年度はじめ（春学期）にクラスが指定され自動登録されます。

「外国語 II 選択科目」および「外国語 III」は、各自でクラスを選択し登録してください。

「英語 I 総合英語」「英語 II ライティング」が不合格の場合、再履修のクラスのレベルは一段階下がります。

#### 復学者の外国語の履修について

休学や留学からの復学者は、必修科目のみ自動登録されます。

#### ※秋学期からの復学する方への注意事項

外国語 I B（もしくはII B）が自動登録されるためには、外国語 I A（もしくはII A）を一度以上履修していることが必要です。外国語 I A（もしくはII A）を未履修の場合、翌年度の春学期から必修科目が自動登録されます。

#### 9月入学者および既習者（高等学院含む）の外国語履修について

事務所で個別に確認してください。

#### 日本語科目的登録制限単位数について

日本語教育研究センターの設置科目については、学期8単位の登録制限単位数が設けられています。

## 6.

## 英語統一試験 (TOEIC L &amp; R IP)

秋学期、「英語Ⅰ：English for Academic Purposes B」「英語Ⅱ：Academic Writing B」履修者は、「英語統一試験」の受験が単位修得の条件です。

また、「英語Ⅱ：Academic Writing A・B」は、この成績によって習熟度ごとに振り分けられます。

## (1) 英語Ⅱ習熟度別クラスについて

英語Ⅱ必修	中級 (15クラス)	準上級 (13クラス)	上級 (4クラス)
英語Ⅱ選択	中級 (700点以下)	上級 (705点以上)	

( ) 内は英語統一試験スコア

必修科目は英語統一試験のスコアに応じて予めクラス分けされ、自動登録されます。

また、英語Ⅱ選択についても、上表に提示されたクラスを各自で選択し、科目登録をしてください。

なお、基準となるスコアは、今後変更することがあります。

## (2) 「英語統一試験」成績優秀者対象「履修免除(単位認定)」制度について

「英語統一試験」成績優秀者のうち、指定期間に申請した方（申請は任意）には、次の科目履修を免除します。

英語Ⅰ：English for Academic Purposes B 履修者（履修免除者含む）

1年次に受けた英語統一試験の得点に応じて、英語Ⅱ選択科目（「英語Ⅱ選択：Reading A/英語Ⅱ選択：Reading B」「英語Ⅱ選択：Listening A/英語Ⅱ選択：Listening B」）のうち、2単位または4単位を認定し、同科目の履修を免除します。

英語Ⅱ：Academic Writing B 履修者（履修免除者含む）

2年次に受けた英語統一試験の得点に応じて、英語Ⅲ科目（「Media English」「Advanced Reading」）のうち、4単位または8単位を認定し、同科目の履修を免除します。

(注意)

- 「英語統一試験」としてではなく、個人で試験を受けた場合の成績は対象となりません。
- 履修免除（単位認定）に必要な得点の基準については、掲示、商学部Webページ等にてお知らせします。
- 1月下旬～2月上旬頃にWasedaメールにて対象者にお知らせを送り

ます。指定期間に申請しなかった場合、単位認定の資格を失いますので注意してください。

○ 認定された単位数は次年度科目登録の登録制限単位数に含みません。

○ 「英語」を選択していない学生は、試験の結果がよくても当該科目履修免除の対象とはなりません。

○ 再履修者も本年度の試験を受験しないと単位の修得はできません（過年度の受験では代替できません）。受験に際し、申し込み手続および受験料の納入が必要です。詳細は商学部Webページにてお知らせします。

※本制度については、今後変更される可能性があります。

## (3) 「英語統一試験」の到達目標について

英語統一試験のスコアは、習熟度別クラスのクラス分けの基準としてだけでなく、日々の英語学習の成果を測定し、学習の内容や方法を点検し反省するためのものであることは言うまでもありません。

なお、TOEIC® Listening & Reading Testの主催団体一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会（IIBC）では、Webページで「スコアの目安」を提示しています。

<https://www.iibc-global.org/toeic/test/lr.html>

また、進路に合わせた到達目標のアドバイスも以下で行っています。

<http://www.iibc-global.org/toeic/test/lr/about/result.html>

これらを参考にし、英語統一試験を有効に活用してください。

さらに、英語統一試験のスコアの目標として、2年次での受験に際して、以下の習熟度別クラスでの平均点を目指しています。各個人のスコアを上げることによって、クラスとしても高め合う学習態度を養ってください。

( ) 内は、IIBCの設定する目安です。

上級：750点以上（企業の国際部門での期待スコア）

準上級：600点以上（企業の全社員への期待スコア）

中級：504点以上（大卒新入社員の平均）

2023年度英語統一試験日程：2023年11月～12月 於：早稲田キャンパス内

※試験日程については10月頃に商学部Webページにてお知らせします。

## 7. 他箇所・他機関の設置科目

教職や自由科目を除き「共通選択科目」(P. 4)に算入されます。

商学部以外の設置科目（他箇所・他機関設置科目）の履修を希望する場合は、その科目を設置している箇所の手引きやWebページ等を参照し、箇所のルールに従って登録手続きを行ってください。また、それらの科目を履修した場合の商学部での単位の取り扱い（⇒P.19）を理解しておいてください。

他箇所・他機関の科目は、大きく「①全学オープン科目」「②他学部提供科目」「③教職等資格関連科目」に分類されます。科目を提供している箇所により登録時期や方法が異なるため特に注意が必要です。

### (1) 科目の概要

#### ①全学オープン科目

早稲田大学には、学部・学年を問わず全学生が履修できる科目が数多くあります。これらの科目を総称して「全学オープン科目」と呼びます。全学オープン科目は、グローバルエデュケーションセンター（GEC）、留学センターをはじめ、学部や研究科、協定を結んでいる他大学などから幅広い分野にわたって提供されています。

学生の皆さんには、所属学部独自のカリキュラムに加えて「全学オープン科目」を選択履修し、修得した単位を所属学部の規定にしたがって卒業単位に算入することができます。所属学部の授業と学部の垣根を越えた総合大学ならではのスケールで学ぶことのできる全学オープン科目を上手に組み合わせて、自分の世界を広げ、学ぶことの楽しさを実感してください。

全学オープン科目の提供箇所と履修方法について

項目 科目提供箇所	科目、講義内容、 科目登録関連の参考先	授業・試験関連の参考先
学部・研究科	・科目提供箇所のWebページ	・授業・試験関連の参考先
グローバルエデュケーションセンター（GEC）	・シラバスシステム（Web） ・「全学オープン科目履修ガイド」	・科目提供箇所のWebページ
留学センター		
協定他大学 (2年生以上対象・一部1年生も可)	・グローバルエデュケーションセンターWebページ ・他大学交流システム（*1）	・科目を提供している大学のWebページ（*2）

\*全学オープン科目の単位の取り扱いについては、所属学部が発行する「学部要項」および「科目登録の手引き」、マニュアル等で確認してください。

\* 1...協定他大学提供科目を検索、登録するためのサイトです。サイトへのアクセス方法は、グローバルエデュケーションセンターWebページで確認できます。

\* 2...各大学Webページは、「全学オープン科目履修ガイド」およびグローバルエデュケーションセンターWebページで確認できます。

#### ●学部・研究科以外の全学オープン科目提供箇所

##### ○グローバルエデュケーションセンター（GEC）

(URL : <https://www.waseda.jp/inst/gec/>)

GECでは、全学部・全研究科の学生が、専門分野に限らず全く異なる分野も学習できる多種多様な科目を展開しています。

すべての学問の基礎となる大学生の必須スキルとして、アカデミック・ライティング科目（「学術的文章の作成」ほか）、数学科目（「数学基礎プラスα（金利編）」ほか）、データ科学科目（「統計リテラシーα」「データ科学入門α」ほか）、情報科目（「プログラミング初級」ほか）、英語科目（「Tutorial English」「Academic Writing and Discussion in English」ほか）を提供します。また、早稲田大学以外では学ぶ機会の少ない言語科目や、多数の特色あるスポーツ実習科目（「ラグビー」「弓道」ほか）、日本語教育科目（「日本語教育学入門」ほか）等も提供しています。

人間的力量と呼ばれる科目群には、国内・海外での実習や企業等と協同で実施するワークショップといった問題解決型・体験型の実践的な学びを多く取り入れています。

科目的提供に加えて、GECでは「全学副専攻制度」を設けています。所属している学部で重点的に学ぶ「主専攻」のほかに、その他の学問分野を「副専攻」として体系的に学び、主専攻の補強、第二の強みの獲得、主専攻の応用領域の獲得などを目指します。全学副専攻の修了者には、卒業時に修了証明書が発行されます。

##### ○留学センター (URL : <https://www.waseda.jp/inst/cie/>)

留学センターは、海外からの留学生受入れや早大生の海外留学支援はもちろん、国際教育プログラムの実施拠点として、留学プログラムと連動し留学先で履修できる科目、外国語学習・テーマ研究・異文化体験を中心とした短期留学科目のほか、海外の学生とともに授業を本学で履修するサマーセッション科目、海外大学からの教員を招へいして実施する「International Japanese Studies」の科目など、独自の科目を学部生に提供しています。

なお、短期留学については、「海外語学・文化研修プログラム」として、春季および夏季の両方が科目登録の対象となっています。この制度により、長期留学が難しい方にも、短期で海外経験を積み、かつ単位を修得できる機会を提供しています。

##### ○協定他大学

(URL : [https://www.waseda.jp/inst/gec/undergraduate/other\\_univ/](https://www.waseda.jp/inst/gec/undergraduate/other_univ/))

早稲田大学は協定を結んでいる他大学と互いに科目を提供しあっています。早稲田大学には設置されていない各大学特有の科目も多くラインナップされており、登録の選択肢も広がります。他大学からの提供科目も所属学部の規定に従い卒業単位に算入することができます。ただし、履修は2年生以上が対象（一部科目については、1年生も履修可能）です。

##### ②他学部提供科目

各学部は、初学者向けで学部を越えて学生の関心が高い科目や他学部生にも推薦する特色のある科目を「全学オープン科目」として提供していますが、定員に余裕がある場合、各学部が設置する専門科目などを「他学部提供科目」として他学部生に履修機会を与えてています。（⇒詳細は各学部Webページへ）

##### ③教職等資格関連科目

商学部では、「中学（社会）」「高校（地理歴史）」「高校（公民）」「高校（商業）」の教員免許取得が可能です。詳細は商学部事務所にお問い合わせください。

## (2) 登録上の注意

- ・「全学オープン科目」を含む「他箇所・他機関設置科目」の登録決定後の取消しありません。
- ・商学部以外の設置科目は卒業必要単位として算入しない「自由科目」として登録することもできます。(P. 6)
- ・秋学期開講科目であっても春学期に登録を実施している科目があるので注意してください。
- ・早稲田キャンパス以外で授業が行われる科目はその前後の時限との移動時間を考慮した上で登録してください。
- ・商学部設置科目と同一名称の科目は履修することができません。ま

た、既に単位修得済みの科目を履修することはできません。これら履修を認めていない科目を登録した場合は当該科目を自由科目として扱い、卒業に必要な単位に算入することができなくなります。

- 注) 次の全学オープン科目の登録を希望する場合は注意が必要です。  
 「身近な化学への招待（導入）」……商学部科目「化学探究A」の単位修得者は登録できません。  
 「身近な化学への招待（発展）」……商学部科目「化学探究B」の単位修得者は登録できません。

## (3) 全学オープン科目等の登録について

### 2023年度他箇所提供科目の登録について

- ・各科目の登録日程や登録における注意事項など、詳細については当該科目に関連する履修ガイドやWebページ等を参照してください。
- ・科目的講義内容は、Webシラバスを参照してください。
- ・春学期科目登録の対象となるのは、以下の期間に開講する科目です。  
 「通年」「春学期」「春クオーター」「夏クオーター」「夏季集中」「集中講義（春学期）」「集中講義（春・秋学期）」「夏秋期」「夏シーズン」
- ・秋学期科目登録の対象となるのは、以下の期間に開講する科目です。  
 「秋学期」「秋クオーター」「冬クオーター」「冬季集中」「春季集中」「集中講義（秋学期）」「冬シーズン」

分類	科 目	参考先要項・手引き等	科目登録時期					
			春学期登録			秋学期登録		
			1次	2次	3次	1次	2次	3次
全 学 オ ー プ ン 科 目	グローバルエデュケーションセンター提供科目		○	○	○	○	○	○
	アカデミック・ライティング科目							
	数学科目							
	データ科学科目							
	情報科目							
	英語科目（※）							
	言語科目	・全学オープン科目履修ガイド ・GEC Webページ ( <a href="https://www.waseda.jp/inst/gec/">https://www.waseda.jp/inst/gec/</a> )						
	保健体育科目							
	自然科学科目							
	人文・社会科目							
Web 科 目 登 録 以 外	国際教育科目							
	日本語教育科目							
	人間的力量科目							
	インターンシップ科目	『インターンシップの手引き』 (キャリアセンター発行)						
	他大学提供科目	・他大学マニュアル ・GEC Webページ ( <a href="https://www.waseda.jp/inst/gec/">https://www.waseda.jp/inst/gec/</a> ) →学部学生の方へ →→他大学提供科目						
留学センター提供科目	留学センター提供科目	・全学オープン科目履修ガイド ・留学センター Webページ	○	○	○	○	○	○
	学部提供全学オープン科目（全学部）	・全学オープン科目履修ガイド ・各学部 Webページ	○	—	—	○	—	—
他学部提供科目	各学部 Webページ		—	—	○	—	—	○
教職等資格関連科目	『教職課程履修の手引き』 (教職支援センター発行)		○	○	○	○	○	○

※グローバルエデュケーションセンター提供の以下の英語科目は、グループ編成の都合上、登録機会が以下の通りとなります。

- ・Tutorial English（春クオーター、秋クオーター開講）：1次登録のみ

### 国際教養学部の他学部提供科目登録について

- ・国際教養学部のWebページ (<https://www.waseda.jp/fire/sils/students/registration/>) で、他学部生が登録可能な科目を公開しますので、事前に確認のうえ、Webから履修申請を行ってください。
- ・1人1科目までの申請となりますので、2科目以上登録した場合は、無作為に超過分がエラーとなります。
- ・中級科目は2年生以上、上級科目は3年生以上のものが登録可能です。
- ・英語力の証明は求めませんが、TOEFL ITP 530点以上の英語力がある方を対象の目安としています。

#### (4) 単位の取り扱い（入学年度別）

①2010年度以降入学者

分類	科 目	卒業算入 上限単位数	年間登録 制限 単位数	算入 科目系列
他学部		—	4 单位	
他 箇 所	グローバルエデュケーションセンター 設置科目	—	—	保健体育科目 保健体育科目以外 日本語教育研究センター 留学センター設置科目（一部GEC設置）
全学 オーブン 科目 ・ 他学部 提供科目	大学院各研究科/センター設置科目	—	20 单位	他箇所/ 他機関 設置科目
	f-Campus 提供科目	—	12 单位	「マルチメディア入門」
	武蔵野美術大学提供科目	—	8 单位	「コンピュータによる統計入門」
	東京女子医科大学提供科目	—	2 单位	「コンピュータによる統計解析」
	東京家政大学提供科目	—	8 单位	「プログラミング初步」
	京都地域大学・短期大学提供科目	—	4 单位	「情報化社会概論」
	九州大学提供科目	—	4 单位	上記以外の旧MNC科目
	東京理科大学提供科目	—	12 单位	(MNC)
	広島大学提供科目	—	12 单位	8 注③
19	保健体育科目の算入上限 4 单位を超えた科目 商研・会計研究先取り科目 他箇所・他機関設置科目の内、卒業算入上限20単位 を超えた科目 教職等資格関連科目（教職・司書・学芸員等資格）	—	—	自由科目

②2009年度以降入学者

分類	科 目	卒業算入 上限単位数	登録制限 単位数	算入 科目系列
他学部		—	4 单位	保健体育科目 保健体育科目以外 日本語教育研究センター 留学センター設置科目
他 箇 所	大学院各研究科/センター設置科目	—	—	他箇所/ 他機関 設置科目
全学 オーブン 科目 ・ 他学部 提供科目	f-Campus 提供科目	—	24 单位	京都地域45大学・短期大学提供科目
	武蔵野美術大学提供科目	—	12 单位	九州大学提供科目
	東京女子医科大学提供科目	—	8 单位	教職等資格関連科目
	京都家政大学提供科目	—	8 单位	保健体育科目の算入上限 4 单位を超えた科目
	東京地域大学・短期大学提供科目	—	4 单位	商研・会計研究先取り科目
	九州大学提供科目	—	4 单位	他箇所・他機関設置科目の内、卒業算入上限20単位を超えた科目
	教職等資格関連科目（教職・司書・学芸員等資格）	—	4 单位	自由科目

③1998～2004年度入学者

分類	科 目	科 目	専門 区分	算入科目系列	卒業算入 上限単位数
他学部		他学部	専門 非専門	オープン科目	注①
他 箇 所	グローバルエデュケーションセンター 設置科目		専門 非専門	オープン科目以外	任意選択科目
全学 オーブン 科目 ・ 他学部 提供科目	大学院各研究科/センター設置科目		保健体育科目 保健体育科目以外	自由科目	—
	f-Campus 提供科目		保健体育科目	総合教育科目	4
	武蔵野美術大学提供科目		保健体育科目以外	「情報基礎演習」	注①
	東京女子医科大学提供科目		「マルチメディア入門」	専門基礎科目 (選択)	注②
	京都地域大学・短期大学提供科目		「コンピュータによる統計入門」	「コンピュータによる統計解析」	
	九州大学提供科目		「プログラミング初步」	「情報化社会概論」	
	教職等資格関連科目（教職・司書・学芸員等資格）	卒業算入不可	上記以外の旧MNC科目	任意選択科目	8 注③
		大学院各研究科/センター 提供科目	専門 非専門	任意選択科目	注①
		f-Campus 提供科目	専門 非専門	任意選択科目	(12)
		武蔵野美術大学提供科目	専門 非専門	任意選択科目	(8)
他 機 関	東京女子医大提供科目		専門 非専門	任意選択科目	(2)
	東京家政大学提供科目		専門 非専門	任意選択科目	注① 注④
	京都地域45大学・短期大学提供科目		専門 非専門	任意選択科目	(4)
	九州大学提供科目		専門 非専門	任意選択科目	(2)
	教職等資格関連科目（教職・司書・学芸員等資格）	卒業算入不可	保健体育科目の算入上限 4 単位を超えた科目	自由科目	卒業算入不可

## <お知らせ>

### 事務手続きの一部を早稲田ポータルオフィスで行うことができます

商学部事務所は17時で閉室となります。以下の手続きに限り、17時以降も早稲田ポータルオフィス（7号館1階）にて受け付けが可能です。授業等で商学部事務所への来所が難しい場合などに活用してください。なお、17時以降だけでなく、17時以前に早稲田ポータルオフィスで手続きすることも可能です。

#### 1. 早稲田ポータルオフィス（WPO）で受付可能な手続き

受付可能手続	必要なもの	備考
奨学生（JASSO） サインアップ	学生証 在留カード	商学部事務所では受付を行いません
学生証再発行受付	証明写真（縦4cm×横3cm） 学生証紛失の場合は2,000円	受付後、約1週間後にWPOで配付
在留資格変更	在留資格確認書類 在留カードの両面コピー	
本人情報変更		
保護者等情報変更	学生証 (氏名変更は戸籍抄本が必要)	保護者等変更の場合は、新保護者等の署名が必要です ※「同居」の場合は、MyWasedaから手続き可能です
学費負担者情報変更		学費負担者変更の場合は、新学費負担者の署名が必要です
証明書発行 (学生証の磁気不良時のみ)		教職関連の証明書は、1週間程度かかります
学割証・通学証明書		受付後、その場で発行
学費等証明書申請受付		受付後、約1週間後にWPOで配付
学費口座変更書類配付		提出は商学部事務所
その他受け渡し物品管理		対象者には個別に連絡します
履修ルール等の相談	—	

※奨学生（JASSO） サインアップを除き、商学部事務所でも継続して受付けていますので、都合の良いオフィスを利用してください。

#### 2. 早稲田ポータルオフィス開室時間

月～金曜日	9：00～20：00（ただし、授業休止期間中は18：00まで）
土曜日	9：00～18：00（ただし、授業休止期間中は閉室）

※大学の臨時休業日に準じて閉室する場合がありますので、最新情報はこちらで確認してください。

⇒【早稲田ポータルオフィスWebページ】<https://www.waseda.jp/wpo/>

#### 3. 卒業後の証明書発行手続き（ご参考）

卒業後に各種証明書（卒業証明書、成績証明書等）を申請する場合も、早稲田ポータルオフィスで手続きが可能です。

※1983（昭和58）年4月以降の卒業者または離籍者に限ります。

※1983（昭和58）年3月以前の卒業者または離籍者は、全て総長室校友課証明書係での受付となります。